

令和3年度

施設名（愛称名）	下田市立稲梓基幹集落センター
----------	----------------

番号	82
----	----

令和3年度

施設評価調書

施設の名称……稲梓基幹集落センター

所管担当課……産業振興課

令和3年7月

令和3年度	施設名（愛称名）	下田市立稲梓基幹集落センター	番号	82
-------	----------	----------------	----	----

設置目的の達成度

1 計画(Plan)と実績(Do)

設 置 目 的	農業振興、生産環境の向上、生活の合理化及びコミュニティ活動を通じて豊かな地域づくりを図る。					
運 営 事 業 名	R 元年度値	R2 年度目標値	R2 年度実績値	対前年比	目標達成率	評価
大会議室	4,362 人	4,600 人	3,232 人	74%	70%	B
和室	609 人	700 人	267 人	44%	38%	D
小会議室	253 人	300 人	37 人	15%	12%	E
農産物加工研究室	0 人	10 人	0 人	100%	0%	E
いきがい工作研究室	179 人	150 人	122 人	68%	81%	A
合計	5,403 人	5,760 人	3,658 人	68%	64%	B
	設置目的に対する総合評価					B
目的達成度の評価基準	会議室毎の過去利用者数の増減をみて目標値を設定。評価基準は目標達成率の 80%～100%以上 A 評価・60%～80%が B 評価・40%～60%が C 評価・20%～40%が D 評価・0%～20%が E 評価					

2 現状分析(Check)

運 営 事 業 の 意 義 と 現 状	地域住民で組織された認定団体、地区 PTA、学習団体等のコミュニティ活動に利用されており、概ね設置目的に沿った利用がされている。 農産物加工研究室の利用者がいなく、小会議室の利用も前年度と比較して減少している。総合評価としても目標値を下回った実績となっている。
上 記 の 原 因	新型コロナウイルスにより休館したこと、また利用していた団体が活動しなくなったことが利用者減少の主な原因として挙げられる。

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	地域と連携を深め活動してくれる指導者等を発掘し新たな利用を図る。		
R3 年度運営事業と目標値	運 営 事 業 名	R3 年度目標値	備 考
	大会議室	4,100 人	※過去 3 年利用者数の平均
	和室	550 人	
	小会議室	200 人	
	農産物加工研究室	0 人	
	いきがい工作研究室	170 人	
	合計	5,020 人	

※参考 前年度までの運営事業の実績値と評価

運 営 事 業 名	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
総合評価	—	—	A	B
大会議室	237 件	278 件	192 件	170 件
	4,413 人	4,931 人	4,362 人	3,232 人
和室	52 件	45 件	33 件	14 件
	639 人	800 人	609 人	267 人
小会議室	26 件	30 件	28 件	6 件
	205 人	325 人	253 人	37 人
農産物加工研究室	0 件	2 件	0 件	0 件
	0 人	13 人	0 人	0 人
いきがい工作研究室	0 件	42 件	42 件	31 件
	0 人	210 人	179 人	122 人
合計	315 件	397 件	295 件	221 件
	5,257 人	6,279 人	5,403 人	3,658 人

令和3年度	施設名（愛称名）	下田市立稲梓基幹集落センター	番号	82
-------	----------	----------------	----	----

効 率 性

1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		R 元年度値	R2 年目標値	R2 年実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用 者数等	5,403 人	5,760 人	3,658 人	68%	64%
	B 年間経費 (除く収入)	5,041,709 円	3,494,000 円	6,724,233 円	133%	192%
	B / A	933 円	607 円	1,838 円	197%	302%
②光熱水費		1,362,652 円	1,332,000 円	1,266,848 円	93%	95%
効率性指標の考え方等		会議室毎の過去利用者数の増減をみて目標値として設定し年間経費で割る。				

2 現状分析(Check)

効 率 性 の 現 状	前年に比べ施設利用者が減り、年間経費が増加したことにより、利用者 1 人当たりの経費が増加し、効率性の悪化が見られた。
----------------	---

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	年間経費を抑え、利用者数を増加させることで効率性を図る。				
R3 年度効率性 の 目 標 値	①利用単位当たり経費 B / A	693 円	予算／利用人数目標値		

※参考 前年度までの効率性指標

効率性指標		H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
①利用単位当たり 経費	目標値	—	—	—	—
	A 実績値	5,257 人	6,279 人	5,403 人	3,658 人
	B 実績値	4,397,697 円	3,709,635 円	5,041,709 円	6,724,233 円
	B/A	837 円	591 円	933 円	1838 円
	対前年比	80%	71%	158%	197%
	目標達成率	—	—	—	—

令和3年度

施設名（愛称名）	下田市立稲梓基幹集落センター
----------	----------------

番号	82
----	----

4 その他の指標

受益者負担 の適正性	区 分	説 明	単位	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	① 有料部分の 年間経費	使用料等を徴収する部 分の年間経費	円	3,709,635 円	5,041,709 円	6,724,233 円
	② 受益者負担 額	施設の本来の目的によ る使用料等の年間総額	円	386,880 円	347,280 円	320,270 円
	③ 受益者負担 比率	②÷①	%	10.4%	6.9%	4.8%
	④ 補正受益者 負担額	減免者より正規の料金 を徴収した場合の受益 者負担額	円	504,490 円	429,330 円	357,230 円
	⑤ 補正受益者 負担比率	④÷①	%	13.6%	8.5%	5.3%

運営に掛か る税負担 (市民負担)	年度		H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度(予算)
	人口（4月1日：人）		21,937	21,492	21,080	20,734
	人口 1 人あ たり（円/人）	運営経費(収入除く)	194	235	319	168
		年間総経費	329	400	504	356

令和3年度	施設名（愛称名）	下田市立稲梓基幹集落センター	番号	82
-------	----------	----------------	----	----

利用者満足度調査

実施の有無	☐ 有 ☒ 無	調査の方法	アンケート		年度調査数	件
○貸館利用者向け						
1 調査結果						
設問	回答種類	年度回答数	年度回答数	年度回答数		
	1 2 3					
	1 2 3					
	1 2					
	1 2					
	1 2					
	1 2					
※今年度寄せられたクレーム等						
2 調査結果から読み取れること						
3 次年度以降への改善点						

施設修繕計画及び備品購入計画

破損 年度	全ての破損した箇所・備品名	経費見積	修繕・買換等 予定年度	備考（修繕済年度等）
※今後想定される維持管理事項 建設より 32 年が経過し施設が老朽化してきている。今後、改修が順次必要になっていくため修繕計画を策定し対応していく。				

令和3年度	施設名（愛称名）	下田市立稲梓基幹集落センター	番号	82
-------	----------	----------------	----	----

管理運営上のその他評価項目

当該施設の必要性 廃止、休止等の可能性 施設の設置目的変更の可能性	年間利用者は約 3,700 人おり、設置地域の住民が大半を占めていることから、地域住民のスポーツや文化活動拠点として欠かすことができない必要な施設である。
民間による管理運営の可能性 今後の管理運営主体の見込み 行政関与の妥当性	施設の規模、維持管理、施設の設置目的から行政が管理運営をしていくことが妥当であると考えているが、地域との連携を深めて地域の積極的な関与と責任を持たせた運営を進めていきたい。
施設の管理運営と経費の妥当性	適正な利用者負担及び地域との連携を深めて最小の経費による運営努力を今後も続けていく。
施設の性質や実費経費からみた 受益者負担の妥当性	受益者負担の適正化を図るため平成 19 年 4 月から条例改正後の新料金と減額規定が適用された。
その他の管理運営上の課題	農産物加工研究室の利用者がいなく、小会議室の利用者が減少している。
【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等	公民館、稲梓中学校体育館が類似施設であるが、利用者等で競合はしていない。

令和2年度 実施運営事業内容

運営事業名	事業内容	次年度に向けての改善事項
大会議室	4,100	
和室	550	
小会議室	200	
農産物加工研究室	0	地域と連携を深め活動してくれる指導者等を発掘し新たな利用を図る。
いきがい工作研究室	170	
合計	5,020	

令和3年度	施設名（愛称名）	下田市立稲梓基幹集落センター	番号	82
-------	----------	----------------	----	----

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立稲梓基幹集落センター		2 担当課 担当係	産業振興課 施設整備係					
3 所在地	下田市椎原 290 番地の 1		4 設置年月	平成元年 1 0 月 5 日					
5 総合計画の 位置付け	基本計画の分野		分野 3 観光・産業・雇用・移住促進						
	施策体系		施策 2 農林水産業の振興						
6 設置目的	農業振興、生産環境の向上、生活の合理化及びコミュニティ活動を通じて豊かな地域づくりを図る								
7 設置根拠	下田市立基幹集落センターの設置及び管理に関する条例								
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 m ² 構造 鉄筋コンクリート造 2 階建て 1 階 321.21 m ² 2 階 285.18 m ² 貸出施設 大会議室 227.04 m ² 小会議室 23.26 m ² 和室 52.2 m ² 農産物加工研究室 31.5 m ² いきがい工作研究室 33.6 m ² その他スペース 管理人施設 45.66 m ² 共用部分 224.17 m ²							
		実施事業 の概要							
		料金体系	料金区分	貸出施設 大会議室・和室・小会議室 農産物加工研究室 いきがい工作研究室					
	主な料金		名 称	午前 (9:00～12:00)		午後 (13:00～17:00)		夜間 (18:00～21:00)	
				普通 使用料	入場料等 を徴収して 私用する 場合	普通 使用料	入場料等 を徴収して 私用する 場合	普通 使用料	入場料等 を徴収して 私用する 場合
			大会議室	1,890	3,780	2,520	5,040	1,890	3,780
			和室	940	1,880	1,260	2,520	940	1,880
			小会議室	940	1,880	1,260	2,520	940	1,880
		農産物 加工研究室	940	1,880	1,260	2,520	940	1,880	
	いきがい 工作研究室	940	1,880	1,260	2,520	940	1,880		
減免内容	第8条 市長は、特に必要があると認めるときは、別表に定める使用料を減免することができる。 2 前項に規定する使用料の減免は、次に掲げるとおりとする。 (1) 市の主催で使用するとき、又は国の機関若しくは地方公共団体が市と共催で使用するとき。 全額免除 (2) 公共的団体の主催で、第1条に規定する目的のために使用するとき、又は市内の保育所、幼稚園若しくは小・中学校の主催で、園児、児童若しくは生徒の教育目的のために使用するとき。 全額免除 (3) 公立小・中学校（市内等の公立小・中学校を除く。）又は公立高等学校の主催で、その目的が教育のために使用するとき。 5割の減額 (4) 国の機関又は地方公共団体の主催で、その目的が公益のために使用するとき。 3割の減額 (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認めるとき。 3割の減額								
	利用料金制度	☒ 有 ☐ 無							
施設運営 方法	・直接運営								
	☐ 指定管理者制度 →		指定管理者						
	☐ 一部委託 →		委託内容						
直接従事職員	下田市職員数 会計年度任用職員（管理人）1 名								

令和3年度	施設名（愛称名）	下田市立稲梓基幹集落センター	番号	82
-------	----------	----------------	----	----

9 市 内 の 類似施設	下田市所有		下田市立椎原公民館			
	民間所有					
10 取得費等 の情報 (単位：円)	取得費及び財源内訳		令和 2 年度末残高			(備考) 減価償却の方法 ・ 定額法(0.025) ・ 残存価格 1 円 ・ 開始翌年から 償却 ・ 耐用年数 41 年 156,000,000× 0.025=3,900,000
	土地取得費			土地残高		
	建物取得費		156,000,000	建物減価償却後残高	35,425,000	
	財源内訳		172,000,000	建物取得費	156,000,000	
	国・県支出金		59,154,000	備品購入費	16,000,000	
	市債		50,000,000	市債残高	0	
	一般財源		49,846,000			
	寄附金等		13,000,000			
	物品(* 万円以上)			物品減価償却後残高		
11 年間経費 等推移 (単位：円)	区 分		H30 年度決算	R 元年度決算	R2 年度決算	R3 年度予算
	収 入	施設使用料	386,880	347,280	320,270	347,000
		使用電話料	0	0	0	0
	収 入 合 計		386,880	347,280	320,270	347,000
	支 出	1 節 報酬	0	0	431,640	554,000
		7 節 賃金	415,400	424,700	0	0
		10 節 需用費（光熱水費）	1,317,202	1,362,652	1,266,848	1,366,000
		10 節 需用費（消耗品ほか）	75,566	29,041	25,399	26,000
		10 節 需用費（修繕料）	833,760	2,195,920	2,226,400	100,000
		11 節 役務費	241,813	51,300	17,439	66,000
		12 節 委託料	291,924	444,126	462,537	820,000
		13 節 借地料	511,025	511,025	511,025	512,000
		13 節 TV 聴視料	22,945	22,945	22,945	25,000
		14 節 工事請負費	0	0	1,760,000	0
		17 節 備品購入費	0	0	0	0
		18 節 負担金、補助及び交付金	0	0	0	8,000
	支 出 合 計		3,709,635	5,041,709	6,724,233	3,477,000
	職員人件費					
	減価償却費（建築工事）		3,900,000	3,900,000	3,900,000	3,900,000
	減価償却費（物品）					
	市債利子					
	下田市負担年間総経費		7,222,755	8,594,429	10,624,233	7,377,000
	備 考	人件費は、実額を算出記載（正職員・嘱託職員等の人件費総額）				